

ママと山修行 野生動物のように パイパンのママと交尾

俺とママは山修行へ出た。

遠く遠く山の奥へ。

駅前を超え丘を登り、とある工場の裏の山の入り口から森の
奥へ奥へと・・・・・・・・。

裸に羽織ったのは鈴懸（すずかけ）の衣。

古より山の修道者が羽織ると呼ばれる衣服である。

寒の入りを過ぎた頃だった。

一年で最も寒さが強まる2月がもうそこまで来ている。

これには一つのきっかけがあった。

ママが友人に裏切られたのだ。

仲が良かった女友達。

元々ママは昔、パパと離婚した未亡人。

不幸が重なるとはこのことで・・・・・・・・。

ママには大切な人が出来ていた。

愛人という聞こえが悪いか・・・・・・・・未亡人のママだから
新しい恋人と言うべきか。

心から好きな人だったようだ。

その彼を、ママが大学の時の同窓生で親しくしていた友人に
寝取られたのだ。

スナックで3人で飲んだ後のことだったという。

さよならを告げたにもかかわらず二人は・・・・。

ヘビーな話なので俺自身耳を塞ぎたくなった。

ママは目の下にクマを携え疲弊気味。

このまま家事と仕事を両立していくのは難しいのではない
か・・・・・・・・そう心配していた矢先。

テレビで鈴懸の衣を着た修道者の特集がやっていた。ドキュ
メンタリーのような感じ。

昔から山で修行するお坊さんだとかは多かったのだという。
悟りを開くとかよく聞くけれど・・・・・・・・。

決まって修行者はまん丸い房を首から下げる。

その形状や雰囲気？が木の実に似ているということで、鈴懸

の木というのが街路樹とか郊外にも植えられていたりするけれど。

一度修行してみては？

俺はママに尋ねた。

全部忘れるために・・・・・・・・。

そう付け加えた。

ママは咄嗟に返した。

「じゃあ・・・リュウタ・・・あなたも一緒よ・・・」

こうしてママと俺の山修行が始まった。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)